



## 陸上昆虫類 *Terrest Insects*

弥栄ダム周辺には、多様な陸生昆虫類が生息しています。

落葉広葉樹や常緑広葉種、スギ植林、アカマツ林など樹林に生息する種、その林縁の草地や道沿いの花に集まる種、川や山際の湿った場所など水辺に生息する種、灌木や多年生草本が繁茂した草地に生息する種などがみられます。食草となる多様な植物が生育していることも大切な環境の要素になっています。

ここでは、弥栄ダム周辺でみられる代表的な30種を紹介します。

# オジロサナエ *Stylogomphus suzukii*



- **分類**  
トンボ目サナエトンボ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は約40mm。  
腹部と胸部は黒く、黄色い横じまがあります。胸部の側面にはY字の模様があります。  
オスは腹部の先端が白く目立つことから、「オジロ」サナエという名がつけられました。  
サナエトンボの「サナエ」とは、「早苗」を植える時期に出現するトンボという意味です。

## 生息場所

低山地や丘陵地にある、水質が比較的きれいな河川の、水際に植物が繁茂する流水域に生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は5～9月。  
メスは石の上などにとまり、卵塊をつくったのち、腹で水面を打って放卵します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期					■	■	■	■	■				清流の流水域

# ムカシヤンマ *Tanypteryx pryeri*



- **分類**  
トンボ目ムカシヤンマ科
- **重要種指定**  
準絶滅危惧【広島】

## 特 徴

体長は約70mm。  
左右の複眼が離れており、前翅と後翅は同じ形をしています。  
原始的な特徴を多く残していることから、「ムカシ」ヤンマという和名がつけられました。「ヤンマ」という名がついていますが、ヤンマの仲間ではありません。  
日本では1科1種のみが知られる貴重な種です。

## 生息場所

溪流近くや沢沿いの湿った環境を好み、葉上や樹幹、地面によくとまります。  
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は4月下旬～8月。梅雨から初夏に多く出現します。  
メスは湿った軟らかい泥や、コケ類の間などに産卵します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													葉上や樹幹、地上など

# ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra*



- **分類**  
トンボ目トンボ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は約32mm。  
腹部は短くて平らな形をしています。  
腹部の横幅が広いことから、「ハラビロ」トンボという和名がつけられました。

## 生 息 場 所

丘陵地や平地の、水生植物が繁茂する池や沼、湿地化した休耕田などに生息します。  
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は4～9月。  
腹部の先端で水を打つようにして、水中に卵を産みおとします。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													池や沼、湿地化した休耕田

# ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea*



- **分類**  
トンボ目トンボ科
- **重要種指定**  
絶滅危惧Ⅱ類【広島】

## 特 徴

体長は約18mm。日本最小のトンボで、一円玉ほどの大きさしかありません。オスとメスでは体色が異なります。オスは成熟すると体色が真っ赤になります。メスは麦わら色と黒色のトラジマ模様になります。江戸時代末期の尾張の学者、大河内存真が「（現在の愛知県にあった）矢田鉄砲場八丁目にのみ発見せられ、ハッチョウトンボの名を有する」と記録したことが、和名のはじまりといわれています。

## 生息場所

山地から丘陵地の、日当たりがよい自然湿地や湿地化した休耕田などに生息します。弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は5～9月。6～7月によくみられます。腹部の先端で水を打つようにして、水中に卵を産みおとします。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													湿地化した休耕田など

# ナツアカネ *Sympetrum darwinianum*



- **分類**  
トンボ目トンボ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は約40mm。

アキアカネとともに、日本のアカトンボ類を代表する種です。オスは成熟すると、複眼を含め全身が真っ赤になります。

アキアカネのオスは複眼が赤くならないため、本種と区別できます。

## 生息場所

丘陵地から平地の、里山環境に生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

## 繁 殖

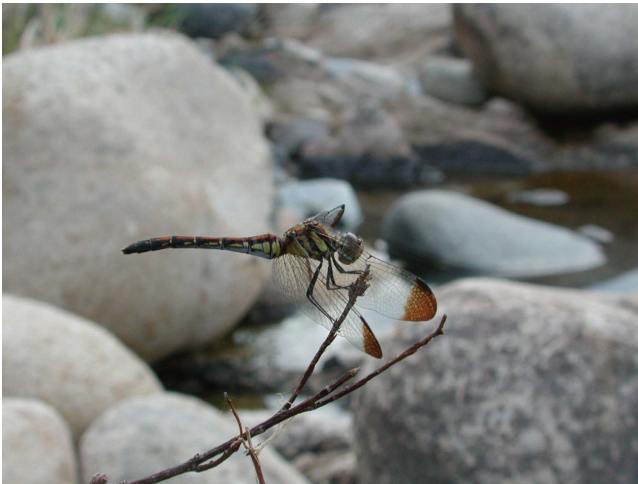
成虫の出現期は6～12月。

稲穂が実った頃や刈取った後の水田に、空中から卵を落として産卵します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■	■	■	■	■	■	池や沼、水田

## ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum*



- **分類**  
トンボ目トンボ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は約45mm。  
赤トンボの仲間で、翅の先に特徴的なこげ茶色の模様があります。  
腹部の黒い斑紋を熨斗目（のしめ）模様に見立てて、「ノシメ」トンボという和名がつけられました。熨斗目とは、江戸時代の武家の礼服に用いられた織物で、仕立て上がった時に腰の部分にだけしまが表れるものをいいます。

### 生息場所

広島県では内陸部に多く、池や沼に生息します。  
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は6～11月で、7～10月に多くみられます。  
オスとメスが連結して飛び、空中から卵を落として産卵します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■	■	■	■			内陸部の池や沼

## ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum*



- **分類**  
トンボ目トンボ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は約34mm。

日本で最も美しいアカトンボの一種とされています。翅の先端近くに幅の広いこげ茶色の帯があるのが特徴です。

「ミヤマアカネ」とは、「深山(みやま：山奥の意味)」にすむアカトンボという意味ですが、実際には丘陵地や平地に多くすんでいます。

近年、全国的に個体数が減少しています。

### 生息場所

丘陵地から平地の、畦畔や神社の参道などにみられる、草丈の低い草地や裸地に生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は6～11月。

オスとメスが連結して飛び、腹部の先端で水を打つようにして、水中に卵を産みおとします。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■	■	■	■	■		草丈の低い草地や裸地



# オオカマキリ *Tenodera aridifolia*



- **分類**  
カマキリ目カマキリ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は最大で95mmほどある、国内最大のカマキリです。  
体色は緑色型と褐色型があります。後翅は、付け根から濃い紫色の斑紋にひろくおおわれます。

## 生息場所

山地から平地の、森林に囲まれた草地や林縁などに生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、ダム上流の小瀬川と長谷川で見られます。

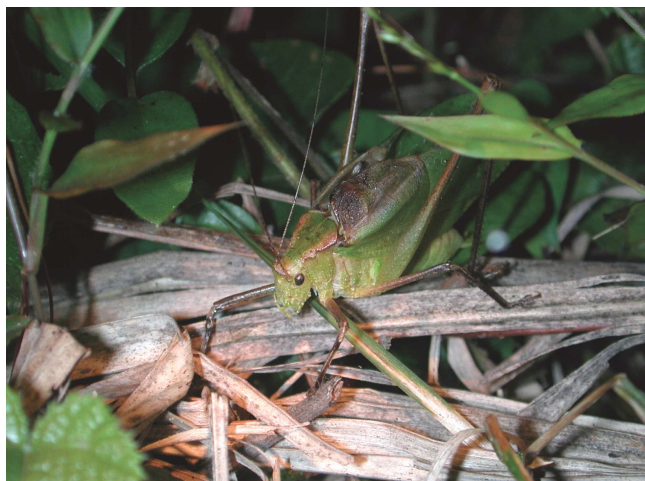
## 繁 殖

成虫の出現期は9～11月。  
メスは木の枝や草の茎などに、泡状の物質に包まれた卵塊を産みつけます。オスは交尾中にメスに食べられることもあります。卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期									■	■	■		森林に囲まれた草地や林縁

# クツワムシ *Mecopoda niponensis*



- **分類**  
バッタ目クツワムシ科
- **重要種指定**  
要注意種【広島】

## 特 徴

体長は50～55mm。  
体色には緑色と褐色の2型があります。  
クズやイタドリなどの葉を好んで食べます。  
夜に「ガシャガシャ」と大きな音量で発音します。この音が、馬にかませる金具(クツワ)が鳴る音に似ていることから、「クツワ」ムシという和名がつけられました。

## 生息場所

丘陵地から平地の里山環境を好み、林縁部のやぶに多く生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は8～10月。  
土の中に産卵し、卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期								■	■	■			林縁部のやぶ

## ツユムシ *Phaneroptera falcata*



- **分類**  
バッタ目ツユムシ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は13～15mmですが、翅の端まで含めると約30mmです。  
体色は濃い緑色をしており、後翅が前翅よりも長く、先端が突き出しています。  
様々な植物の葉や花を食べます。  
「ピチ…ピチ…」と、小さな音量で発音します。

### 生息場所

山地から平地の、やや背丈が高く、明るい草地に多く生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、ダム上流河川の小瀬川と長谷川で見られます。

### 繁 殖

成虫は6～7月、10月～11月の年2回出現します。  
葉の中に産卵し、卵で冬を越します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■			■	■		やや背丈の高い草地

## ニシキリギリス *Gampsocleis buergeri*



- **分類**  
バッタ目キリギリス科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は約30～40mm。  
体色は緑色型と褐色型があります。  
雑食性で、イネ科植物の茎や小さな昆虫などを食べます。  
鳴き声は、「ギー」を繰り返し、合間に「チョン」が入ります。  
「キリギリス」はよく知られた昆虫ですが、最近「ニシキリギリス」と「ヒガシキリギリス」の2種に分けられました。

### 生息場所

日あたりがよく、やや背丈の高い草地に多く生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は6～10月。  
土の中に産卵し、卵で冬を越します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■	■	■	■			やや背丈の高い草地

# カヤキリ *Pseudorhynchus japonicus*



- **分類**  
バッタ目キリギリス科
- **重要種指定**  
要注意種【広島】

## 特 徴

体長は63～67mm。  
頭部の先端がとがっているのが特徴です。体色は緑色型と褐色型があり、まれに赤紫がかった個体もみられます。  
ススキやツルヨシなどイネ科植物の茎を主食とします。  
「ジャー……」と大音量で発音します。  
「カヤ（ススキの別名）原にすむキリギリス」の意で、「カヤキリ」という和名がつけられました。

## 生 息 場 所

ススキやツルヨシなどが茂った、明るい草地に生息します。  
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は7～9月。  
ススキやツルヨシなどイネ科植物の茎と葉のすき間に産卵します。卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													背丈の高いイネ科草地

# アオマツムシ *Trujalia hibinonis*



- **分類**  
バッタ目マツムシ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は15～24mm。  
体色は鮮やかな緑色をしています。  
サクラやミカン類など、様々な植物の葉を食べます。  
夜間、樹上で「リューリューリュー…」と大音量で発音します。明治時代に中国や東南アジアから渡来した外来昆虫です。

## 生息場所

山地から平地の、森林や果樹園、街路樹、庭木など樹木のある様々な場所に生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、ダム上流の小瀬川と長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は7～10月。  
樹木の枝や茎に産卵します。卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期							■	■	■	■			樹上

# エンマコオロギ *Teleogryllus emma*



- **分類**  
バッタ目コオロギ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は約30mm。

体色は黒みがかった茶色をしており、複眼の上にある眉状の模様が目立ちます。

雑食性で植物の葉や実、昆虫の遺体などを食べます。

オスは草原や畑で「コロコロリー」と玉（宝石）を転がすように美しく発音します。メスを呼ぶときと、オスどうしがけんかするときは、「リッ、リッ」と激しく音を立てます。

## 生息場所

里山環境を好み、背丈の低い草地、畑のワラや枯れ草の下などに多く生息します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、タム湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は8～11月。

土の中に産卵し、卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期								■	■	■	■		畑や草地

# ショウリョウバッタ *Acrida cinerea*



- **分類**  
バッタ目バッタ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は最大で約82mm。  
体色は緑色型と褐色型があります。オスはメスに比べて小さく細長いため、一見すると違う種のようにみえます。  
イネ科の植物を好んで食べます。  
オスは飛ぶときに、前後の翅を打ち合わせて「キチキチキチ」と発音します。

## 生息場所

丘陵地から平地の、背丈の低い日あたりのよい草地に生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、ダム上流の小瀬川と長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は8～11月。  
土の中に産卵し、卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期								■	■	■	■		背丈が低く明るい草地



# クルマバッタ *Gastrimargus marmoratus*



- **分類**  
バッタ目バッタ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は最大で約65mm。  
体色は緑色型から褐色型まで多様に変化します。後翅には半円の太く茶色い帯があります。  
草食性で、おもにイネ科やカヤツリグサ科などの植物を食べます。  
飛ぶときに「パタパタ」と発音します。後翅の半円状の模様が目立つことから、「クルマ（車輪の輪の意味）」バッタという和名がつけられました。

## 生息場所

草地や裸地などに多く生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は7～11月。  
土の中に産卵し、卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													草地や裸地

# トノサマバッタ *Locusta migratoria*



- **分類**  
バッタ目バッタ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は最大で約65mm。

体色は緑色型と褐色型があり、前翅にはこげ茶色で黒い斑紋があります。

草食性で、おもにイネ科やカヤツリグサ科の植物を食べます。

脚力が強く、長い距離を飛ぶことができます。体が大きく堂々とした様子が「殿様」のようであることから、「トノサマ」バッタのという和名がつけられました。

## 生息場所

草地や裸地などに多く生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、ダム上流の小瀬川と長谷川で見られます。

## 繁 殖

成虫は7～11月の間に年2回発生します。

土の中に産卵し、卵で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期							■	■		■	■		草地や裸地

## ヤスマットビナナフシ *Micadina yasumatsui*



- **分類**  
ナナフシ目ナナフシ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は42～54mm。  
体や足は細長く、木の枝に似ています。体色は緑色です。  
おもにコナラの葉を食べます。  
敵に襲われると、ピンク色の下羽を開いて威嚇します。

### 生息場所

山地から平地の、コナラが多く自生する林に生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は7月から10月。  
メスだけで卵を産んで繁殖（単為生殖）します。地上にばらまくように産卵します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期							■	■	■	■			コナラの多い林

## エダナナフシ *Phraortes illepidus*



- **分類**  
ナナフシ目ナナフシ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は最大で約82mm。  
体や足は細長く、木の枝に似ています。体色は緑色から黒みがかった褐色で、翅はありません。  
ノイバラやクヌギ、イタドリなど様々な植物の葉を食べます。  
脚がとれても、幼虫の場合は、脱皮のたびに少しずつ再生します。

### 生息場所

日あたりのよい雑木林や林縁に多く生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は6月下旬～12月。  
平地ではオスとメスがみられ、有性生殖で繁殖します。地上にばらまくように産卵します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													雑木林、林縁

# ハルゼミ *Terpnosia vacua*



- **分類**  
カメムシ目セミ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は32～36mm。名前の通り春に鳴くセミです。  
体色は黒みがかった茶色または黒色で、翅は無色透明です。  
「ムゼームゼー」と発音します。マツ林に多いため、「マツゼミ」という別名もあります。

## 生息場所

低山地から平地の、マツ林に多く生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

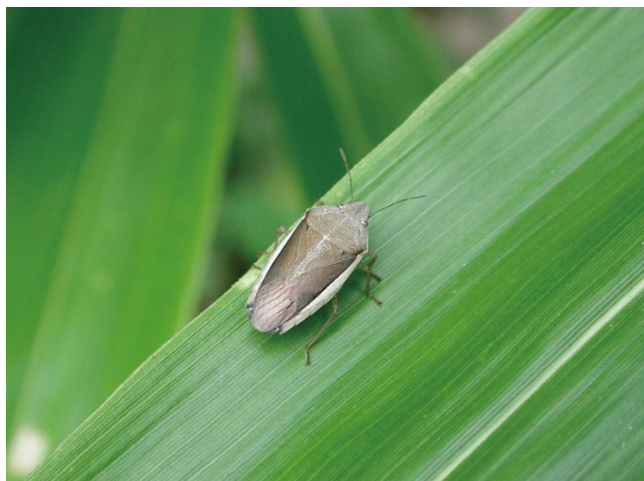
## 繁 殖

成虫の出現期は4～6月。年1回発生します。  
おもにマツの枯れ枝に、穴をあけて産卵します。ふ化した幼虫は地面に落ちて、土の中に潜った後、幼虫のまま冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													マツ林

# シロヘリカメムシ *Aenaria lewisi*



- **分類**  
カメムシ目カメムシ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は10～15mm。  
扁平な形をしており、体の脇はクリーム色で囲まれています。  
イネ科植物や、ササ類の葉から汁を吸います。

## 生息場所

山地から丘陵地の、林縁やササ類の多い場所に生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は4～6月。  
ササ類の若い葉や茎に産卵します。成虫で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期 (出現期)				■	■	■							林縁やササ類の多い場所
成虫期 (越冬期)							■	■					石の下や枯葉の間

## クチブトカメムシ *Picromerus lewisi*



- **分類**  
カメムシ目カメムシ科
- **重要種指定**  
情報不足【山口】

### 特 徴

体長は11～16mm。  
胸部の両脇はすどくとがっています。  
動物食で、クモ類や昆虫類などの小生物を鋭い口吻で刺し、体液を吸います。

### 生息場所

山地の樹林や草地などに生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は5～10月。  
石の下や枯れ草の間にもぐり、成虫で冬を越します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期 (出現期)					■	■	■	■	■	■			樹林や草地
成虫期 (越冬期)	■	■	■	■							■	■	石の下や枯葉の間

## キバネツノトンボ *Ascalaphus ramburi*



- **分類**  
アミメカゲロウ目ツノトンボ科
- **重要種指定**  
準絶滅危惧【広島】

### 特 徴

体長は20～25mm。トンボ類ではなく、「アリジゴク」で有名なウスバカゲロウの仲間です。体色は全体的に黒く、前翅のつけ根と後翅には黄色のまだら模様があります。触覚の先が丸い形をしているのが特徴です。幼虫は葉の上を歩き回りながら、小さな昆虫を捕まえて食べます。

### 生息場所

ススキやノイバラなどが生える、日あたりのよい乾燥した草地に生息します。弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は5～6月。草の茎や低木の小枝などに卵を2列にならべて産卵します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期					■	■							日当たりのよい草地



# イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata*



- **分類**  
チョウ目セセリチョウ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は約15mm。  
翅は全体的にこげ茶色をしています。後翅の白紋が一行に規則正しく並んでいるのが特徴です。  
成虫はおもにアザミ類、キク類など様々な花の蜜を吸います。

## 生息場所

山地から平地の、イネ科植物が多い草原や河川敷などに生息します。  
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

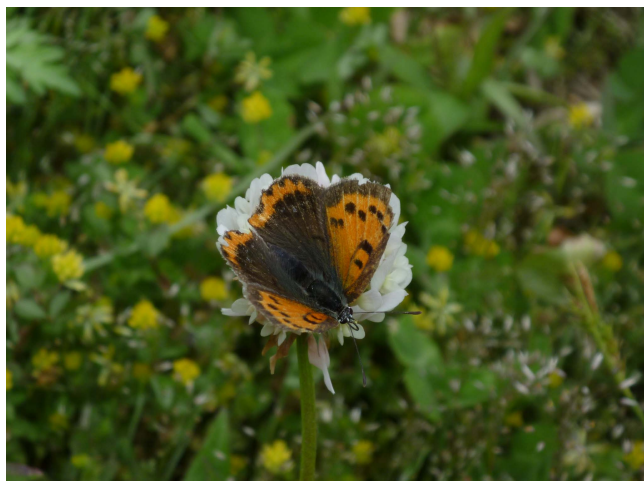
## 繁 殖

成虫の出現期は5～10月。年3～5回発生し、夏から秋にかけて数が多くなります。  
平地から山地のイネ科植物が多い草地で、草の葉の裏に卵を1個ずつ産み付けます。幼虫で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期					■	■	■	■	■	■			草地や河川敷

## ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio*



- **分類**  
チョウ目シジミチョウ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は13～17mm。  
夏型と春型があります。春型の前翅は紅色で、夏型の前翅は淡い黒色をしています。  
成虫はヒメジョオン、シロツメクサ、タンポポ、ノコンギクなどの様々な花の蜜を吸います。

### 生息場所

山地から低地の里山環境に多く、日あたりのよい河川敷や堤防、道端、草地、田畑などに生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川と長谷川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は3～11月。暖地では年5～6回、寒冷地では年4～5回発生すると考えられています。  
幼虫は食草であるスイバやギシギシなどの葉のつけ根に潜んで冬を越します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期			■	■	■	■	■	■	■	■	■		河川敷や道端、田畑など

# サカハチチョウ *Araschnia burejana strigosa*



- **分類**  
チョウ目タテハチョウ科
- **重要種指定**  
指定なし

## 特 徴

体長は20～25mm。

後翅の縁は波のような形で、真上から見ると八の字をひっくり返した模様が見えることから、「サカハチチョウ=逆八蝶」という和名付がつけられました。春型と夏型では大きさや色が異なり、まるで別の種のように見えます。春型の翅は黄色で縁どられ、夏型の翅には細い赤色の斑紋がみられます。成虫はウツギやヒメジョオンなどの白色の花に集まり蜜を吸います。

## 生息場所

低山地の落葉広葉樹林の周辺、特に溪流沿い、林道沿いに多く生息します。弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は4～8月。年1～3回発生します。

道路や溪流沿いのコアカソやイラクサなどの植物に産卵します。さなぎで冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													落葉広葉樹林

# オオムラサキ *Sasakia charonda charonda*



- **分類**  
チョウ目タテハチョウ科
- **重要種指定**  
準絶滅危惧【環境省】  
準絶滅危惧【広島】  
準絶滅危惧【山口】

## 特 徴

体長は約50～55mm。日本の国蝶です。  
オスの翅の内側は青い金属光沢に輝きます。  
成虫はコナラやヤナギの樹液を吸いに集まります。

## 生息場所

山地から平地の、雑木林に生息します。  
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

## 繁 殖

成虫の出現期は6～8月。年1回出現します。  
メスはエノキの葉や枝に産卵します。幼虫はエノキの根際に堆積した落葉の下で冬を越します。

## 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■	■					雑木林

## キタキチョウ *Eurema hecabe*



- **分類**  
チョウ目シロチョウ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は20～25mm。

夏型と秋型があり、早春にみられるのは秋型が冬を越したものです。夏型は、翅の表面の黒紋が発達しています。

成虫は様々な花の蜜を吸います。また、林道や河原の湿った地表で、集団となって吸水することもあります。

### 生息場所

低山地から平地の、林縁や河川敷などに生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川と長谷川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は3～11月。年2～3回発生します。

メドハギやヤドハギ、ネムノキなどの葉や枝に産卵します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期			■	■	■	■	■	■	■	■	■		林縁や河川敷

## ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus maculifemoratus*



- **分類**  
コウチュウ目クワガタムシ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は、オス27～51mm、メス25～40mm。  
クワガタムシ類の多くは夜行性ですが、本種は昼も夜も活動します。コナラやヤナギの樹液を吸いに集まります。夜間は明かりによく飛んできます。

### 生息場所

山地から平地の、雑木林やブナ林などに生息します。  
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は6～9月。  
メスは枯れた広葉樹の根際の土中に産卵します。幼虫は朽ち木を食べて成長し、やがて土の中でさなぎになります。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期						■	■	■	■				雑木林やブナ林など

## コアオハナムグリ *Gametis jucunda*



- **分類**  
コウチュウ目コガネムシ科
- **重要種指定**  
指定なし

### 特 徴

体長は12～15mm。

体の背面は緑色や暗い赤色で、淡い黄色の斑紋があります。

成虫は、おもにノイバラやヤブカラシ、ハルジオン、ミカン類などの花を訪れ、蜜や花粉を食べます。

### 生息場所

丘陵地から平地の、キク科植物のある草地やミカン類の果樹園などに生息します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、流入河川の小瀬川と長谷川で見られます。

### 繁 殖

成虫の出現期は4～10月。年1回発生します。

さなぎか新成虫の状態、おもに土中で冬を越します。

### 生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
成虫期													平地から山地の草地や果樹園